

# 地域高規格道路

くまもと し おおづまち

## 中九州横断道路(熊本市～大津町)

### 第3回 説明資料

平成27年 9月15日

国土交通省 九州地方整備局

## 本日、ご審議いただく内容

1. 前回までの審議内容
2. 第2回意見聴取の概要
3. 第2回意見聴取の結果
4. 対応方針(案)の検討
5. 自治体への意見照会
6. 対応方針(案) まとめ

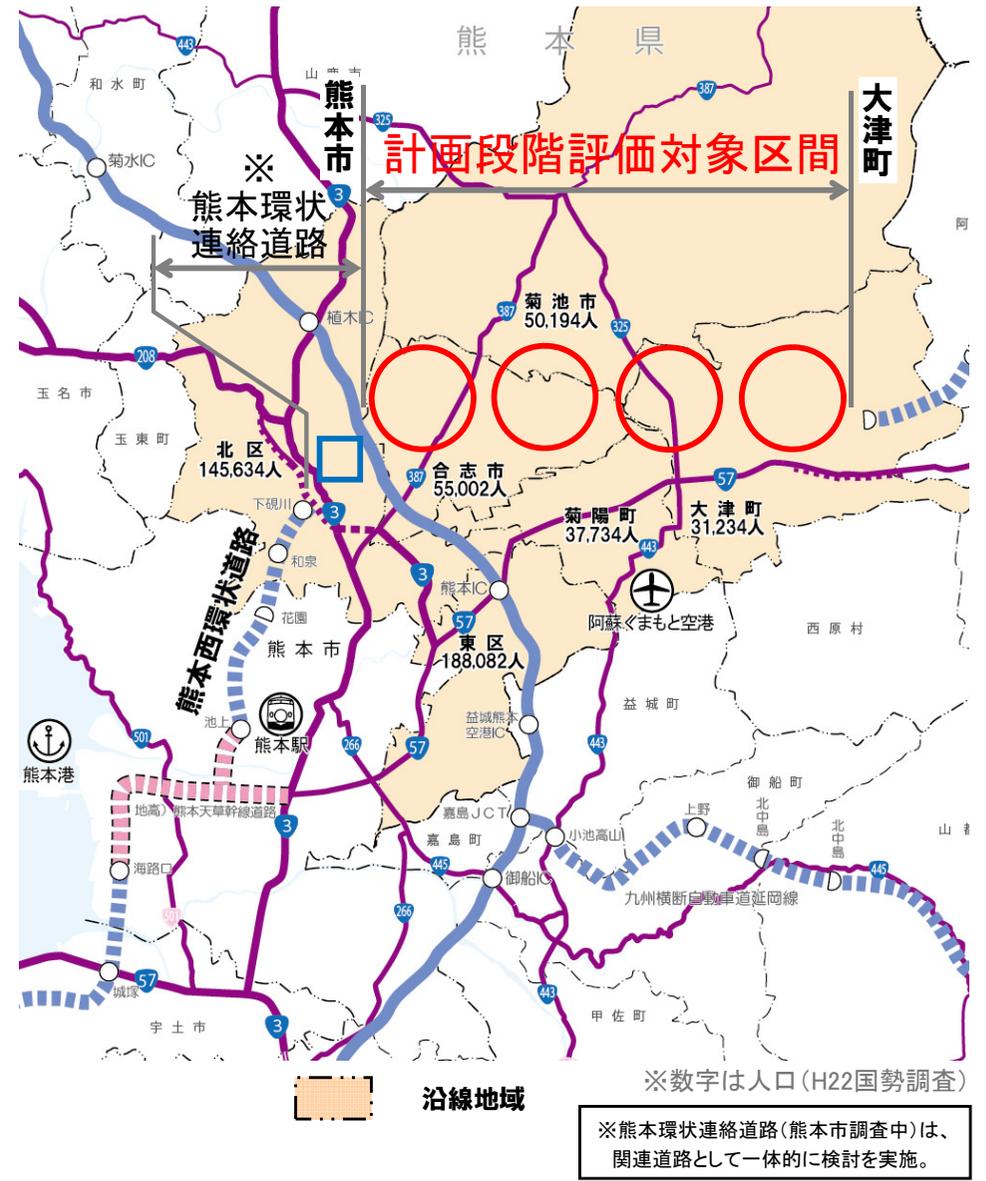
# 1. 前回までの審議内容

# 1-1. 評価対象区間

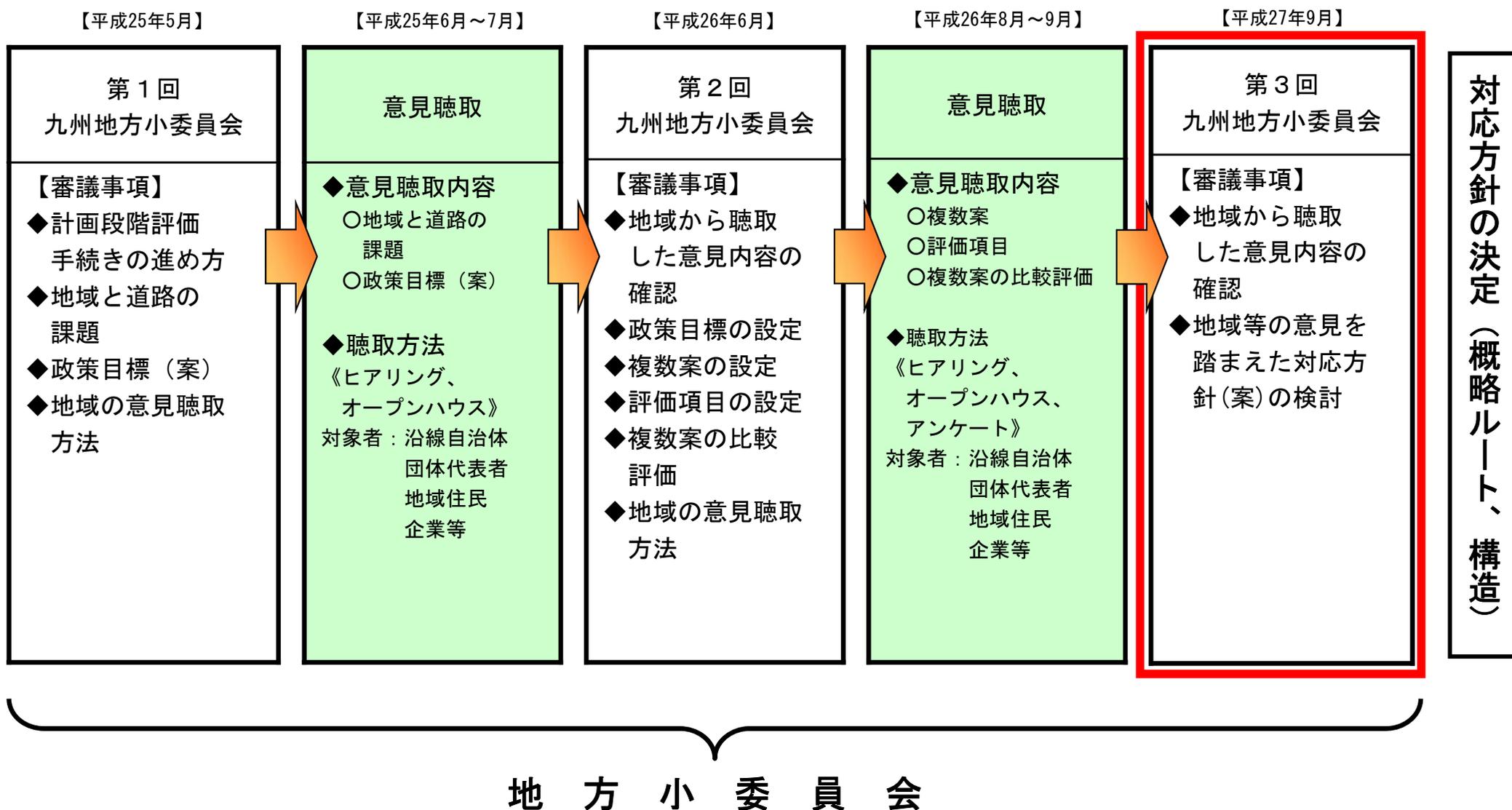
【広域図】



【対象自治体位置図】



# 1-2. 計画段階評価手続きの進め方(案)



# 1-3. 前回審議内容<九州地方小委員会(2回目)>

## 九州地方小委員会(2回目)の概要

### ■実施日

平成26年6月30日

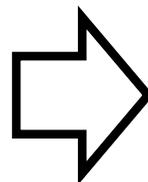
### ■主な議題

- ①地域から聴取した意見内容の確認
- ②政策目標の設定
- ③複数案の設定
- ④評価項目の設定
- ⑤複数案の比較評価
- ⑥地域の意見聴取方法

## 九州地方小委員会(2回目)での主な指摘事項と対応状況

### 指摘事項

今後のアンケートでは、世帯主以外の意見も確認するなど年齢構成が偏らないように工夫すること。



### 対応状況

アンケート実施にあたって、回答用返信はがきを4枚/世帯同封した。

# 1-4. 政策目標

## ■ 政策目標の設定

■地域の課題や将来像等を踏まえ、4つの政策目標を設定し、これら目標を達成するための対策案を検討。

地域の現状と課題

道路・交通の現状と課題

地域の将来像

1. 高速性や走行性の確保による産業の活性化
2. 救急医療機関等への速達性・確実性の向上
3. 高速性の確保による観光振興の促進
4. 渋滞緩和による生活環境の改善

## ■ 対策案の検討

### 【物流・産業】

熊本～大分間の移動時間短縮、九州縦貫道へのアクセス強化、走行性の向上による物流効率化に伴う産業活動の活性化

### 【医療】

熊本市の第三次救急医療機関等への速達性、確実性の向上により緊急医療体制を支援

### 【観光】

国内屈指の観光地である阿蘇地域のポテンシャルを最大限に活かし、連絡性向上により菊池地域など周辺観光施設と一体となった広域的なネットワークの確保

### 【暮らし】

熊本都市圏における交通渋滞の緩和による通勤時間の短縮、交通安全性の向上等、生活環境の改善

### ○対策案を検討する上での配慮事項

【生活環境・自然環境の保全と調和】

【沿道利用】

【経済性への配慮】

基本コンセプト：大分市～熊本市を最短時間で連絡するとともに、九州縦貫道へのアクセスや走行性の向上を図り、産業の活性化や観光振興、都市圏の渋滞緩和を目指す

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

## 2. 第2回意見聴取の概要

## 2. 第2回意見聴取の概要

■意見聴取は、自治体・企業・団体ヒアリング、地域住民アンケート及びオープンハウスによる地域住民ヒアリングなど、以下の内容を実施した。

| 対象   | 意見聴取方法      | 実施期間                       | 対象の詳細  | 回答状況                  |
|------|-------------|----------------------------|--|-----------------------|
| 自治体  | ヒアリング       | 平成26年8月26日(火)<br>～9月12日(金) | 熊本県、熊本市、合志市、菊池市、菊陽町、<br>大津町  | 6自治体より                |
| 団体   | ヒアリング       | 平成26年8月26日(火)<br>～9月11日(木) | トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会<br>議所、消防署、農協、観光協会等                                      | 19団体より                |
| 企業   | ヒアリング       | 平成26年8月26日(火)<br>～9月11日(木) | 対象地域の主要企業<br>(製造業、小売業、サービス業、医療・福祉)   | 102企業より               |
| 地域住民 | アンケート       | 平成26年8月7日(木)<br>～8月31日(日)  | ・アンケート(熊本市(北区、東区)、合志市、<br>菊池市、菊陽町、大津町)<br>6地区×3,000世帯(18,000世帯)<br>※無作為抽出により配布 | アンケート回答数<br>4,220票    |
|      | オープン<br>ハウス | 平成26年8月21日(木)<br>～8月24日(日) | ・オープンハウス<br>12会場(熊本市4、合志市2、菊池市2、<br>菊陽町2、大津町2)                                 | オープンハウス<br>意見聴取数:999票 |

# 2. 第2回意見聴取の概要

## ■ヒアリング実施状況



【製造業:大津町】

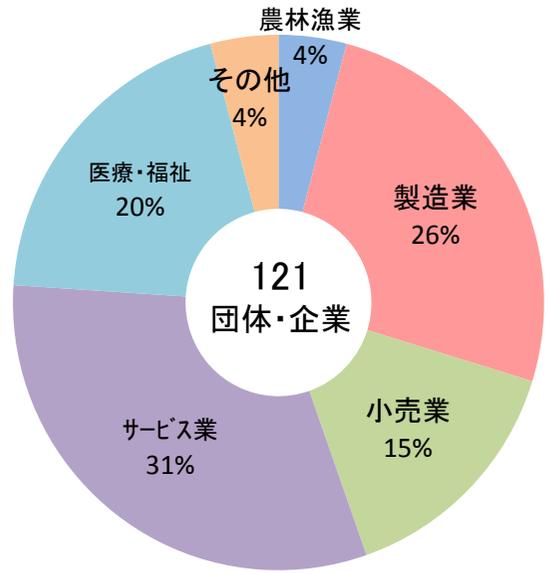


【小売業:熊本市】



【製造業:大分市】

## ■ヒアリング実施団体・企業の内訳



対象:団体(19団体)  
企業(102社)

# 2. 第2回意見聴取の概要

## ■オープンハウス実施状況

【熊本市北区役所(平日)】



【合志市役所(平日)】



【菊陽町図書館(休日)】



【熊本市 東部公民館(休日)】



【菊池市 道の駅泗水(休日)】

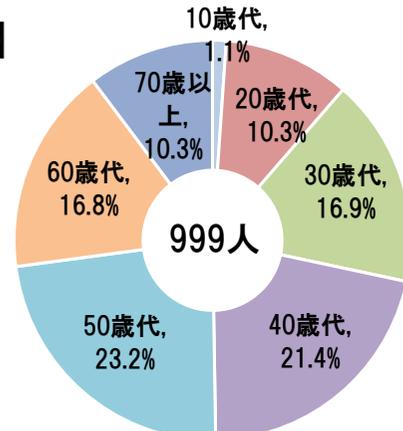


【大津町役場(平日)】

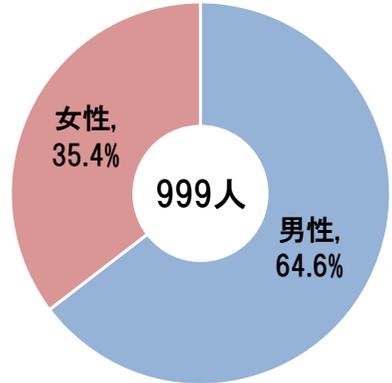


## ■オープンハウス意見聴取者の内訳

### 【年代】



### 【性別】



対象：地域住民  
 会場：熊本市4、合志市2、  
 菊池市2、菊陽町2、  
 大津町2  
 意見聴取数：999票

# 2. 第2回意見聴取の概要

## ■住民アンケート実施内容

アンケートにお答えください（回答は返信はがきに記入してください）

- アンケート対象者**
  - 本アンケートは、配布させて頂いた世帯のご家族の方で、18歳以上の方を対象と考えております。お手数とは思いますが、アンケート回答へのご協力をお願い致します。
  - 世帯主の方はもちろんですが、幅広い年齢層の方からのご意見をお伺いしたい為、ご家族皆様へのご協力を願ひたく、「アンケート回答用 返信はがき」を4枚同封させて頂いております。
  - なお、ご協力頂けるにも関わらず、アンケート回答用返信はがきが不足している場合は、お手数ですが、裏表紙のアンケート問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い致します。
- 回答の提出方法及び締め切り**
  - 同封しています「アンケート回答用 返信はがき」に記入し、郵便ポストに切手を貼らず、平成26年8月31日（日）までに投函してください。

**質問1 対策案(ルート帯案)を検討する際に、重視すべき事項**  
※前頁に示した「対策案(複数のルート帯)の検討及び比較表」を参考にお答えください。

【質問1-1】(はがきの表面に記入)  
対策案(ルート帯案)を検討する際に、下記の重視すべき事項について、皆様は何を重視すべきだと思いますか？①～⑬に挙げる13の事項の重要性を5段階で評価してください。

- 熊本市～大分市間を早く、スムーズに行けること
- 産業拠点と高速ICを結び搬送先に早く行けること
- 患者に負担なく、救急病院に早く行けること
- 熊本駅と観光地を結び、目的地に早く行けること
- 熊本空港と観光地を結び、目的地に早く行けること
- 渋滞が少なく、スムーズに移動できること
- 生活環境(騒音など)への影響が少ないこと
- 自然環境(動植物など)への影響が少ないこと
- 熊本都市圏のネットワークが形成されること
- 家屋移転が少ないこと
- 沿道からの利用が便利なこと
- 段階的に開通が図られ、早期に整備効果が望めること
- 整備費用が安いこと

【質問1-2】(はがきの裏面に記入)  
あなたが前記事項を重視すべきと思う理由や、前記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

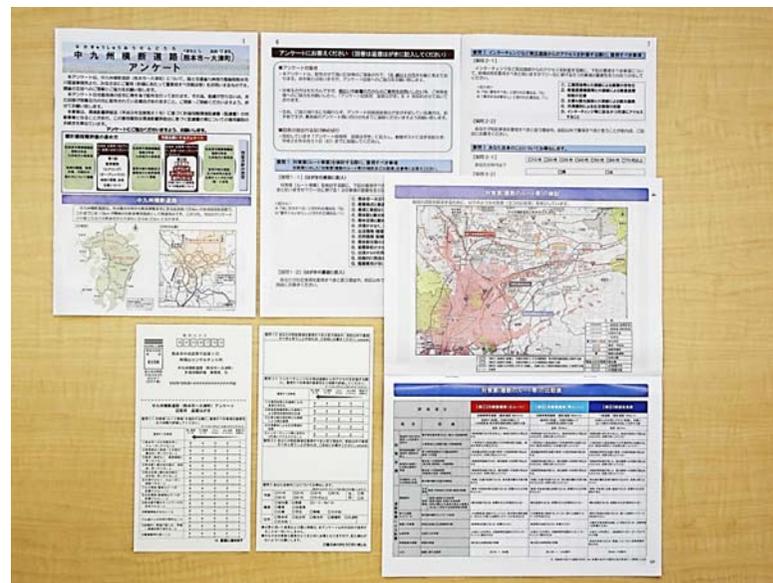
**質問2 インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に、重視すべき事項**

【質問2-1】  
インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に、下記の重視すべき事項について、皆様は何を重視すべきと思いますか？①～⑤に挙げる5つの事項の重要性を5段階で評価してください。

- 工業団地等との連絡による産業の活性化
- 救急医療機関等との連絡による緊急医療体制の支援
- 主要な観光施設との連絡による観光振興
- 渋滞緩和による生活環境の改善
- インターチェンジ等に安全かつ円滑にアクセスすること

【質問2-2】  
あなたが前記事項を重視すべきと思う理由や、前記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

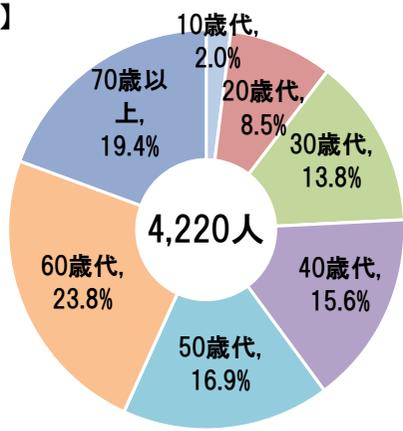
**【質問内容】**



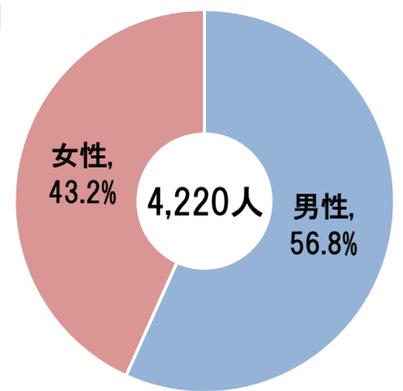
◆アンケート用紙

## ■住民アンケート回答者の内訳

【年代】



【性別】



対象：地域住民  
配布：6地区×3,000世帯(18,000世帯)  
※無作為抽出による配布  
回答：4,220票

# 2. 第2回意見聴取の概要

## ■ 広報活動(オープンハウス)

**中九州横断道路(熊本市～大津町)**  
**道路計画に関するご意見をお聞かせください!**

中九州横断道路(熊本市～大津町)の道路計画を進めるにあたり、下記の日時、場所においてオープンハウス(パネルの展示と合わせスタッフが説明)を行います。  
 「ルート常案を検討する際に重視すべき事項」、「インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に重視すべき事項」等について、皆様のご意見をお聞かせください。

| 開催時間  | 平日10:00～16:00                          | 土日10:00～16:00                            |  |
|-------|--|--|--|
| 熊本市北区 | 8月22日(金) 北區役所<br>8月24日(日) 榑木文化センター     | 熊本市東区<br>8月21日(金) 東區役所<br>8月23日(日) 東部公民館 | 合志市<br>8月21日(金) 合志市役所 合志庁舎<br>8月23日(日) 合志総合センター「ウィーブル」 |
| 菊池市   | 8月22日(金) 菊池市役所<br>8月24日(日) 道の駅酒水「養生市場」 | 菊陽町<br>8月22日(金) 菊陽町役場<br>8月23日(日) 菊陽町図書館 | 大津町<br>8月21日(金) 大津町役場<br>8月24日(日) おおつ図書館               |

国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所

◆チラシ・ポスター

合志市 未来輝く産業・定住拠点都市  
 ～人と自然を大切に協働によるまちづくり～

中九州横断道路(熊本市～大津町)の道路計画を進めるにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせ下さい。

最終更新日 [2014年8月5日]

- 平成26年6月00日に九州地方整備局において開催された「社会資本整備審議会道路分科会九州地方小委員会」において、計画段階評価第1の手続きを進めております中九州横断道路(熊本市～大津町)に関する第2回目の審議を行いました。
- これを受け、地域の皆様のご意見を幅広く伺うことを目的にオープンハウス(パネルの展示と合わせスタッフが説明)を下記の日程で開催します。
- 「ルート常案を検討する際に重視すべき事項」、「インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に重視すべき事項」等について、皆様のご意見をお聞かせ下さい。
- どなたでも自由に参加願いますので、お気軽にお越し下さい。
- また、あわせて地域の企業・団体へのアンケートや地域住民へのアンケート(無作為抽出)を実施しますので、ご協力をお願いします。

※1: 計画段階評価は、新規事業採択の前段階において、政策目標を明確にした上で、複数案の比較評価を行うもの  
 ※2: 熊本市(北区、東区)、合志市、菊池市、菊陽町、大津町の5市町を対象  
 ☆熊本市(北区) 平成26年8月22日(金) 北區役所  
 平成26年8月24日(日) 榑木文化センター  
 (東区) 平成26年8月21日(木) 東區役所  
 平成26年8月23日(土) 東部公民館  
 ☆合志市 平成26年8月21日(木) 合志市役所 合志庁舎  
 平成26年8月23日(土) 合志市総合センター「ウィーブル」  
 ☆菊池市 平成26年8月22日(金) 菊池市役所  
 平成26年8月24日(日) 道の駅酒水「養生市場」  
 ☆菊陽町 平成26年8月22日(金) 菊陽町役場  
 平成26年8月23日(日) 菊陽町図書館  
 ☆大津町 平成26年8月21日(木) 大津町役場  
 平成26年8月24日(日) おおつ図書館

※ 開催時間は、各会場とも10:00～16:00

◆各自治体ホームページ(合志市の例)

東区 Daily News  
 中九州横断道路計画への  
 ご意見をお聞かせください

道路計画に関するご意見をお聞かせください  
 オープンハウス開催  
 中九州横断道路(熊本市～大津町)  
 はこちらで開催中!

8月21日(木)  
 東区役所

中九州横断道路に関する  
 パネル展示と説明(オープンハウス)

8月22日(金) 北區役所・菊陽町役場・菊池市役所  
 8月23日(土) 東部公民館・菊陽町図書館  
 合志市総合センター「ウィーブル」  
 8月24日(日) 榑木文化センター・おおつ図書館  
 道の駅酒水「養生市場」  
 ※全会場 午前10:00～午後4:00

◆ケーブルテレビニュース(8月21日(木)放送)

**中九州横断道路(熊本市～大津町)における道路計画に関するご意見をお聞かせください**

開催場所・日時

| 開催時間  | 平日 10:00～16:00                     | 土日 10:00～16:00                           |  |   |  |  |
|-------|------------------------------------|--|--|---|--|--|
| 熊本市北区 | 8月22日(金) 北區役所<br>8月24日(日) 榑木文化センター | 熊本市東区<br>8月21日(金) 東區役所<br>8月23日(日) 東部公民館 | 合志市<br>8月21日(金) 合志市役所 合志庁舎<br>8月23日(日) 合志総合センター「ウィーブル」 | 菊池市<br>8月22日(金) 菊池市役所<br>8月24日(日) 道の駅酒水「養生市場」 | 菊陽町<br>8月22日(金) 菊陽町役場<br>8月23日(日) 菊陽町図書館 | 大津町<br>8月21日(金) 大津町役場<br>8月24日(日) おおつ図書館 |

どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお越しください。

国土交通省 熊本河川国道事務所では、調査を進めております中九州横断道路(熊本市～大津町)について、地域の皆様のご意見を幅広く伺うことを目的にオープンハウス(パネルの展示と合わせてスタッフが説明)を開催します。「ルート常案を検討する際に重視すべき事項」、「インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に重視すべき事項」等について、皆様のご意見をお聞かせください。

本事業は、環境影響評価法に基づく計画段階環境配慮書(配慮書)の対象事業となることがあり、この意見聴取は環境影響評価法第三条の七に基づく配慮書の案についての意見聴取の手続きを兼ねています。

**意見聴取について**  
 各会場にて開催当日に担当者がアンケート用紙を配布しますのでご協力をお願いします。なお、アンケート用紙は当日に回収させていただきます。

**お問い合わせ**  
 国土交通省 九州地方整備局  
 熊本河川国道事務所 調査第二課

TEL 096-382-1111

事業の名称: 中九州横断道路(熊本市～大津町)  
 事業を実施しようとする者の氏名及び住所: 国土交通省 九州地方整備局 (局長: 金尾 健司 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-10-7)  
 事業実施想定区域: 熊本市～大津町(延長約20km)

◆新聞広告(熊本日日新聞 8月20日(水)朝刊)

## **3. 第2回意見聴取の結果**

### **(1) ルート帯案に関すること**

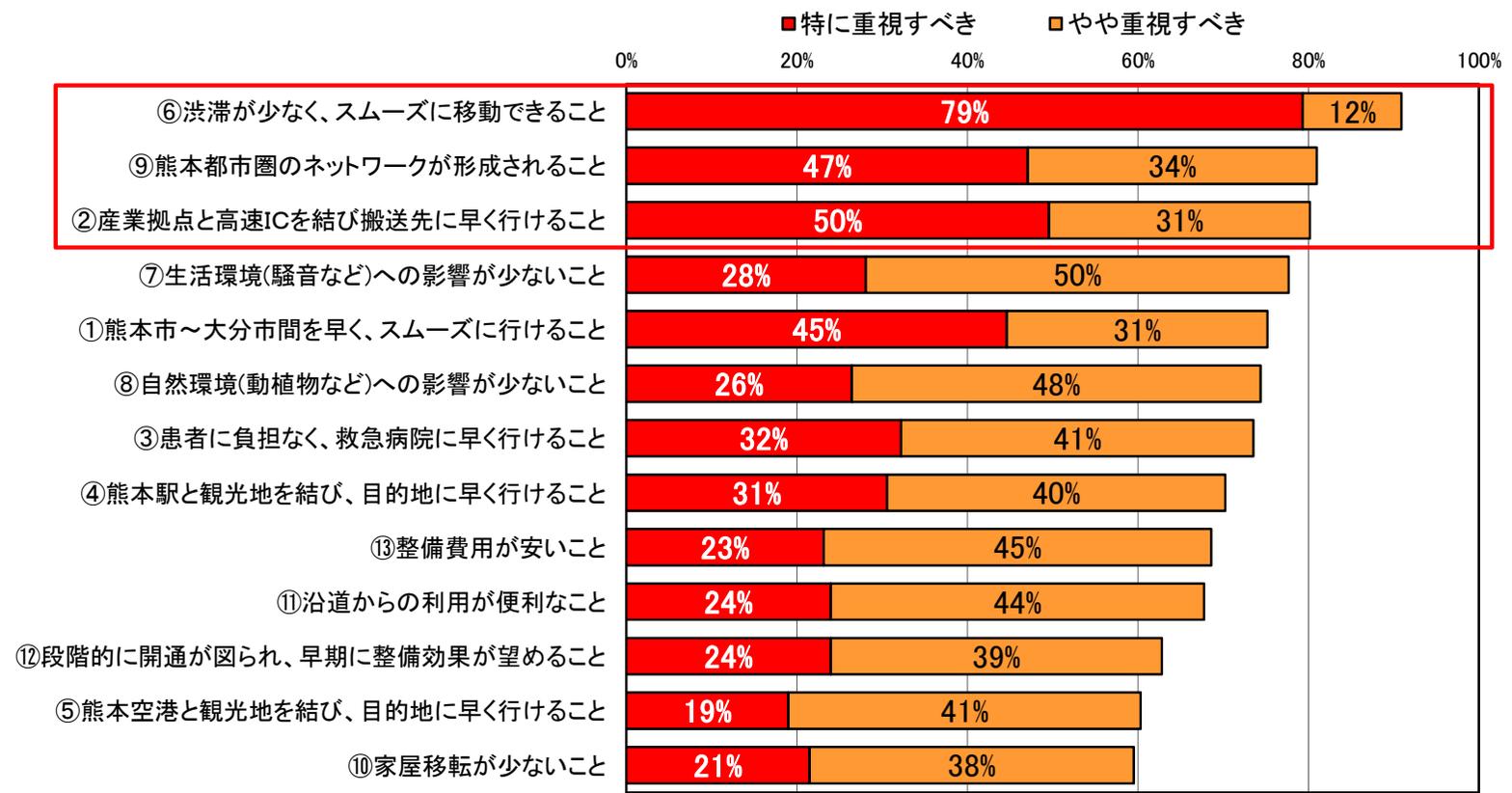
# 3-1. 意見聴取の結果 ルート帯案に関すること

## ■ 団体・企業(ヒアリング)

■「⑥渋滞が少なく、スムーズに移動できること」、「⑨熊本都市圏のネットワークが形成されること」、「②産業拠点と高速ICを結び搬送先に早く行けること」について8割以上が重視している。

質問：対策案(ルート帯案)を検討する際に、何を重視すべきと思いますか？

【団体・企業(ヒアリング)】 121団体・企業



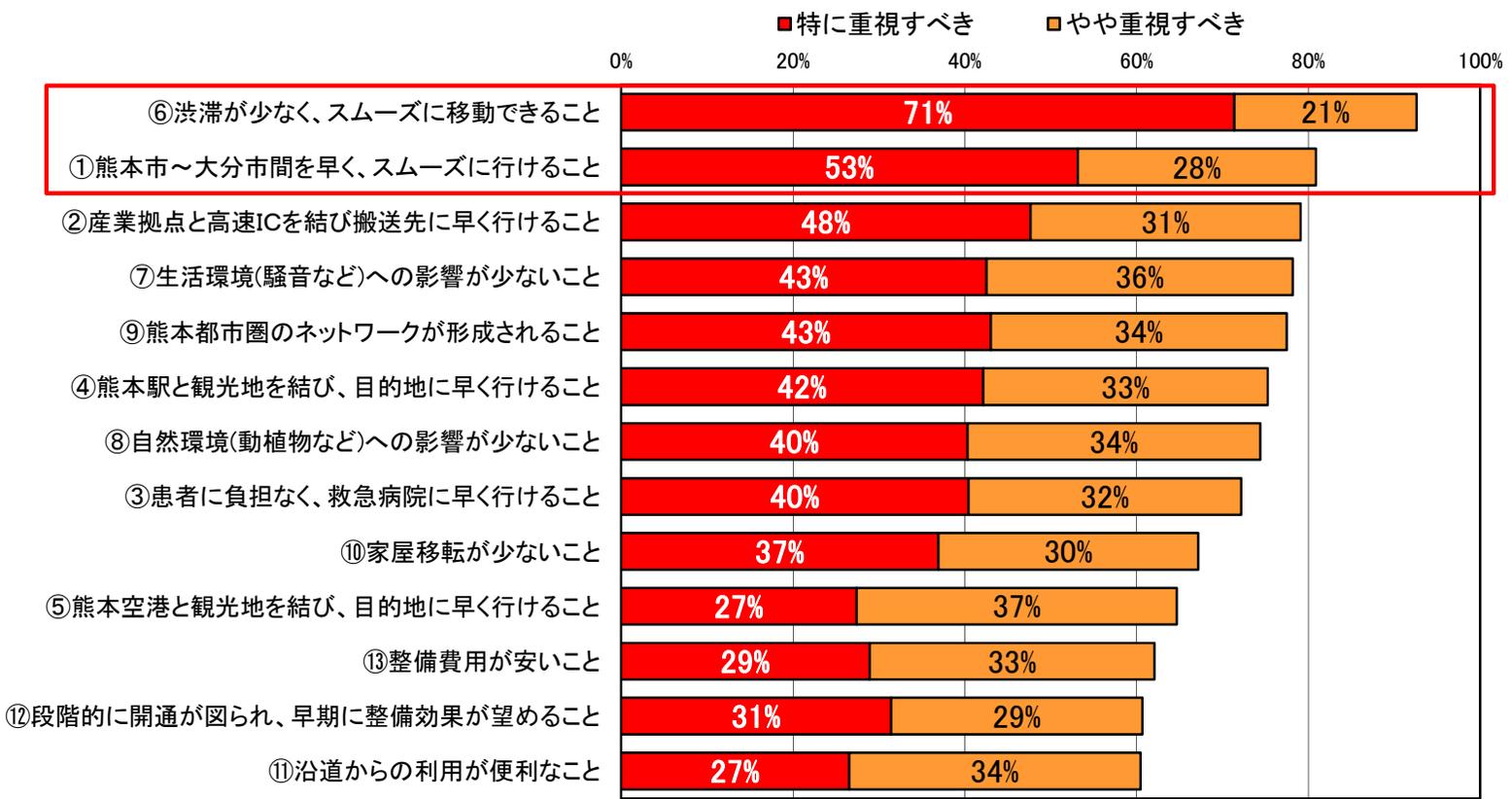
# 3-1. 意見聴取の結果 ルート帯案に関すること

## ■ 地域住民(オープンハウス)

■ 「⑥渋滞が少なく、スムーズに移動できること」、「①熊本市～大分市間を早く、スムーズに行けること」について8割以上が重視している。

質問：対策案(ルート帯案)を検討する際に、何を重視すべきと思いますか？

【地域住民(オープンハウス)】 999人



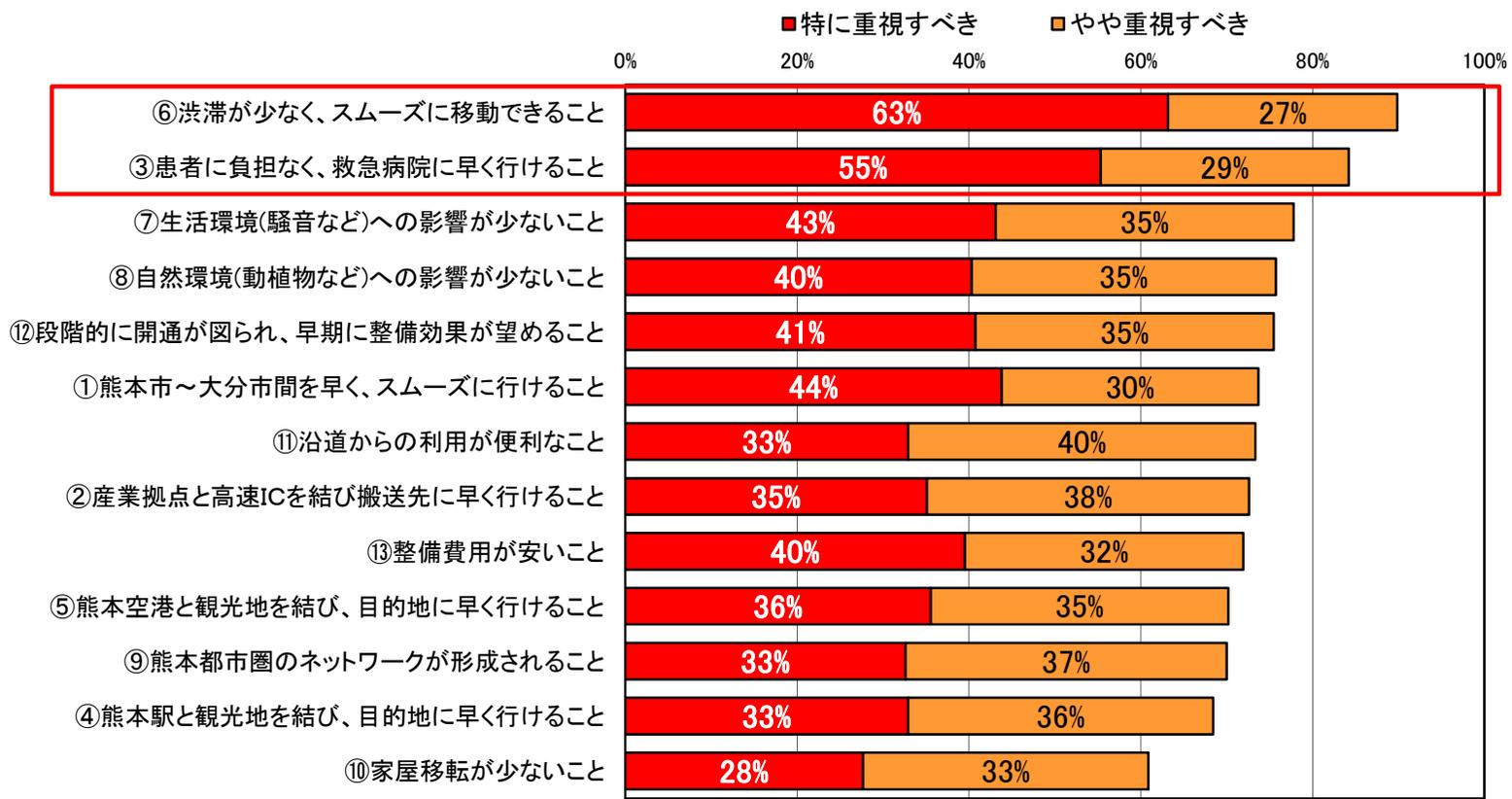
# 3-1. 意見聴取の結果 ルート帯案に関すること

## ■ 地域住民(アンケート)

■ 「⑥渋滞が少なく、スムーズに移動できること」、「③患者に負担なく、救急病院に早く行けること」について8割以上が重視している。

質問：対策案(ルート帯案)を検討する際に、何を重視すべきと思いますか？

【地域住民(アンケート)】 4,220人



# 3-1. 意見聴取の結果 ルート帯案に関すること

## ■自治体(ヒアリング)

■自治体からは渋滞緩和やネットワーク効果、地域活性化の視点からルートを検討して欲しいという声が多かった。

### <熊本県知事>

- ・中九州横断道路は、九州の循環型高速交通ネットワーク及び地域軸を形成する上で重要な役割を担う主要幹線道路であり、ルート帯については、工業等の各種産業が集積する地域を効果的に結び、また、熊本西環状道路と連絡し、熊本都市圏の交通混雑緩和、交通分散が期待出来る「案①」北ルートが望ましい。
- ・熊本市～大分市間は県庁所在地であるにも関わらず、高速交通ネットワークが未整備であるため、速達性、安全性の高い自動車専用道路が必要である。
- ・「熊本駅」から熊本を代表する観光地「阿蘇」へのアクセスが悪いことが課題であり、阿蘇方面への速達性、定時性が確保されれば、観光振興が期待される。
- ・国道57号は慢性的な混雑により通勤者や物流関係の負担が大きい事に加え、周辺的生活道路への車両流入があり、騒音や振動などによる生活環境や歩行者の安全性が損なわれているため、これらを解消する必要性は高い。
- ・示されたルート帯の中には鳥獣保護区内を通るものがある。自然環境への影響が少ないことが望ましい。
- ・全線の開通には一定の期間を要しても、速達性・安全性が高い自動車専用道路が必要である。

### <熊本市長>

- ・本市では、地域高規格道路熊本環状道路を構成する熊本西環状線の整備を行っている中、九州縦貫自動車道を結ぶ熊本環状連絡道路の整備が喫緊の課題であると認識し、熊本環状連絡道路の都市計画決定に向けた準備を進めている。この熊本環状連絡道路については、中九州横断道路と連結することを目的と考えており、熊本西環状線の整備効果を高めるためにも、中九州横断道路のルート帯案として「案①」北ルートをお願いしたい。

### <合志市長>

- ・北ルート案は、熊本西環状道路と接続し新たなネットワークの構築ができ、熊本都市圏の渋滞緩和の効果が大きいと考えられる。利便性や速達性があり、経済効果や地場産業の活性化が見込めるのは、産業拠点を通る「案①」であり、費用対効果を上げるためにも、早期に「案①」での実施をお願いしたい。

### <菊池市長>

- ・熊本市東部のベットタウン化進展に伴い、インフラや人口が特定地域帯に集中しすぎている為、慢性的な道路渋滞を引き起こしており、国道57号線に近接しすぎたラインでは、更なる集中を助長し、根本的解決に繋がらない恐れがある。
- ・菊池周辺地域は、全国規模の畜産業が集積し、大規模のテクノパーク(工業団地)も開所したばかりであることから、本道路計画との戦略的リンケージによる地域経済活性化の起爆剤として投資効果の最大化を図るためにも、案①「北ルート」が最適ルートと考える。

### <菊陽町長>

- ・「案①」北ルート案は、物流面で九州縦貫自動車道へのアクセス道路として有効で、熊本都市圏のネットワーク形成につながる。
- ・「案②」南ルート案は、空港と高規格道路が結節することにより、企業(製造業・卸小売業・観光産業・情報通信業他)の活動が劇的に活性化する。
- ・「案③」国道57号改良案は、沿線に店舗等の張り付きが著しく、工事期間中及び工事完成後の騒音振動等による生活環境の悪化などデメリットが大きい。

### <大津町長>

- ・多くの工業製品や農畜産物は、九州縦貫道を利用し福岡方面や関西などに輸送されているため、九州縦貫道との連続性が急務であり、町の中央部と中心北部に企業や商業施設が立地している大津町では、利便性や現状及び将来を鑑みると案①の北ルートが最適と考える。

## **3. 第2回意見聴取の結果**

### **(2) インターチェンジなどに関すること**

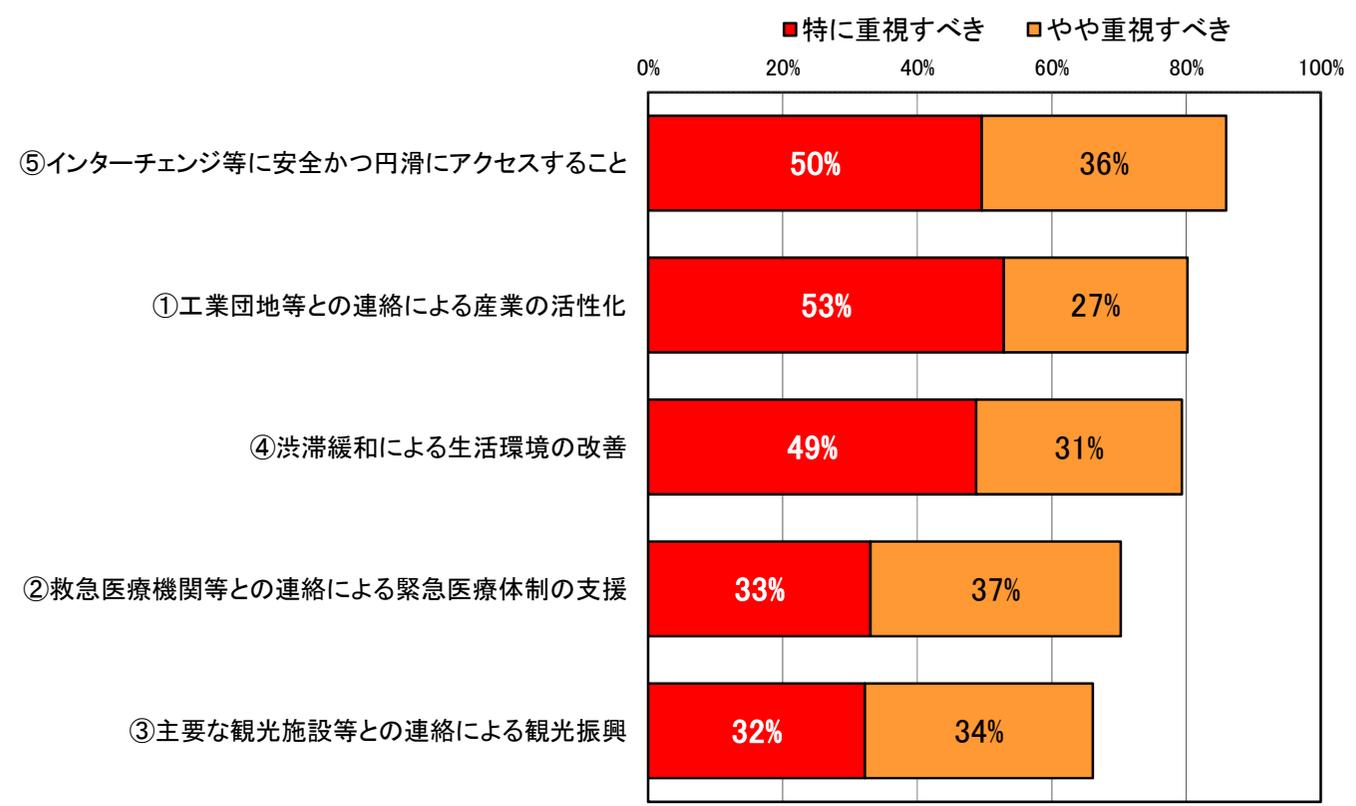
# 3-2. 意見聴取の結果 インターチェンジなどに関すること

## ■ 団体・企業(ヒアリング)

■ 「⑤インターチェンジ等に安全かつ円滑にアクセスすること」、「①工業団地等との連絡による産業の活性化」について8割以上が重視している。

質問：インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際、何を重視すべきと思いますか？

【団体・企業(ヒアリング)】 121団体・企業



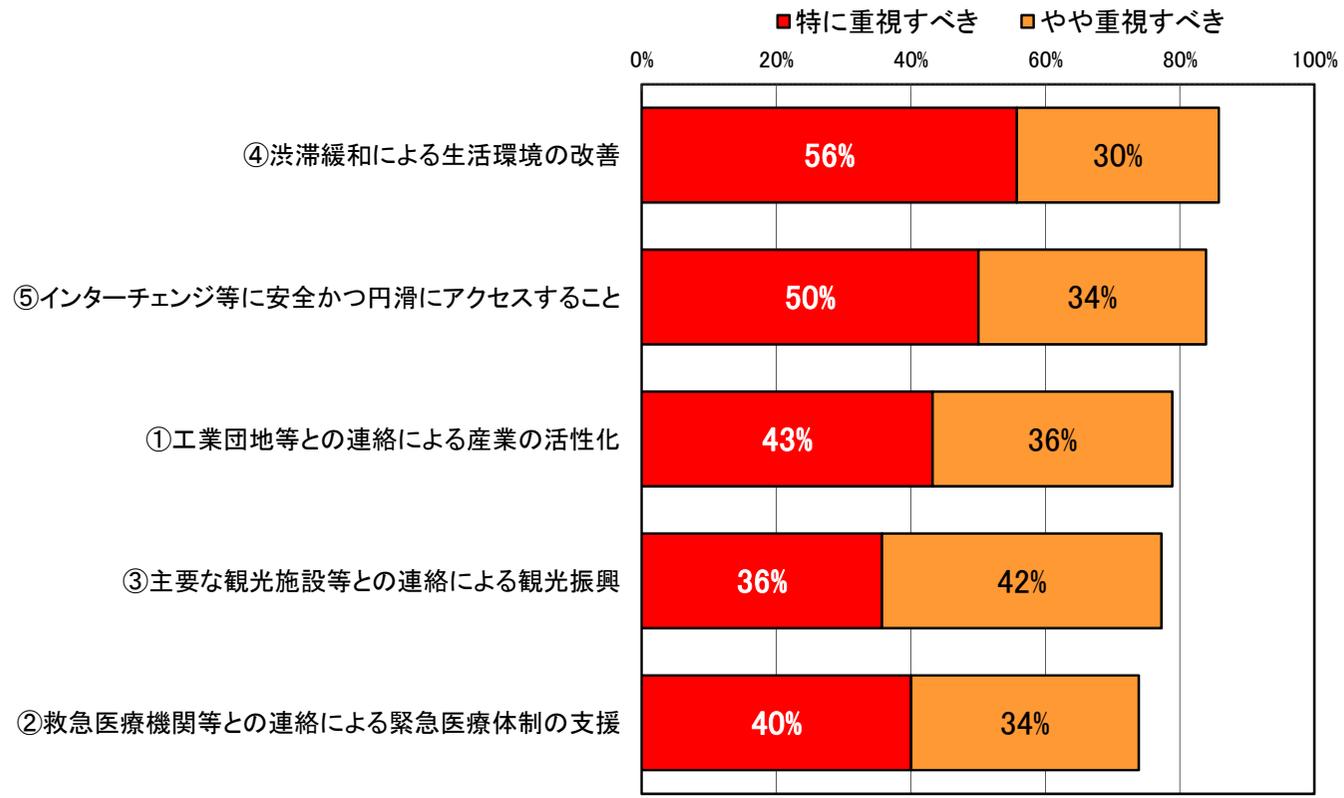
# 3-2. 意見聴取の結果 インターチェンジなどに関すること

## ■ 地域住民(オープンハウス)

■ 「④渋滞緩和による生活環境の改善」、「⑤インターチェンジ等に安全かつ円滑にアクセスすること」について8割以上が重視している。

質問：インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際、何を重視すべきと思いますか？

【地域住民(オープンハウス)】 999人



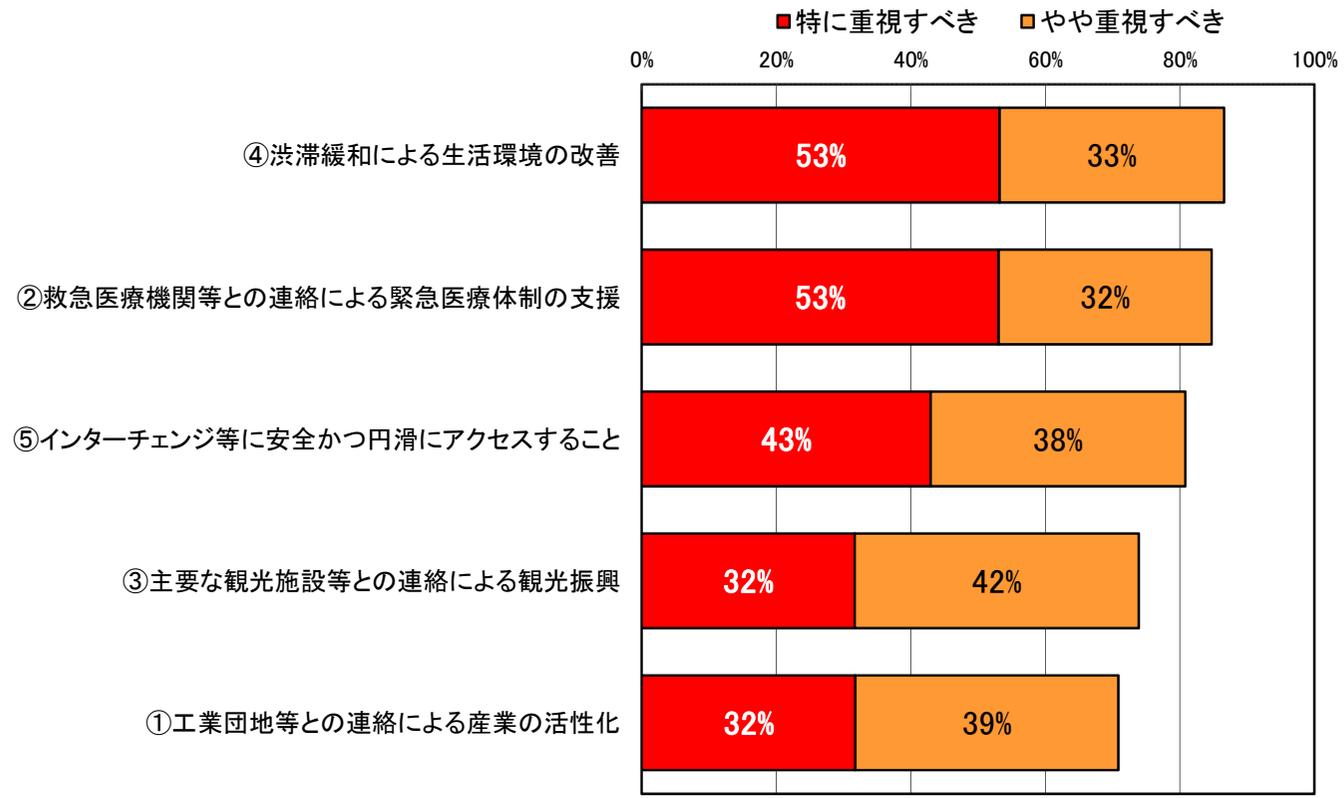
# 3-2. 意見聴取の結果 インターチェンジなどに関すること

## ■ 地域住民(アンケート)

■ 「④渋滞緩和による生活環境の改善」、「②救急医療機関等との連絡による緊急医療体制の支援」  
「⑤インターチェンジ等に安全かつ円滑にアクセスすること」について8割以上が重視している。

質問：インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際、何を重視すべきと思いますか？

【地域住民(アンケート)】 4,220人



## 3-2. 意見聴取の結果 インターチェンジなどに関すること

### ■自治体(ヒアリング)

■自治体からは、工業団地等の物流拠点や国道等の地域の主要な道路への連絡性を重視する意見が寄せられた。

#### <熊本県知事>

- ・物流の速達性の確保のためには、工業団地や生産拠点などの物流拠点とインターチェンジは近い方が良い。
- ・当該地域及び阿蘇地域は、熊本市内の三次救急医療施設に依存していることから、速達性の確保が課題。医療施設への搬送時間を短縮するために、インターチェンジへのアクセス性を高くする必要がある。
- ・インターチェンジの位置次第ではアクセス道路の混雑が生じ、生活環境の悪化が懸念される。インターチェンジ設置に当たっては、地域の主要な道路へ接続することが望ましい。

#### <熊本市長>

- ・中九州横断道路と熊本西環状線及び熊本環状連絡道路ができれば熊本港までのアクセス時間が短縮され、菊池南部地域の企業の熊本港利用ニーズが高まる。中九州横断道路の工業団地との連絡性が高くなれば、さらに高い効果を発現できる。
- ・熊本市は医療分野の面で「くまもと医療都市グランドデザイン」を策定し医療拠点都市を目指している。また、観光分野の面では「国内外から選ばれるコンベンションシティ」の実現に向けて、国内外から選ばれる都市を目指して各種の会議やイベント等の誘致を推進している。

#### <合志市長>

- ・県道熊本大津線・住吉熊本線の混雑は激しいため、県道沿線にインターチェンジができると通過車両が迂回し、渋滞の緩和に効果があると期待する。
- ・物流の速達性や利便性を向上させ、地場産業の活性化に繋げるためにも、インターチェンジは既存の交通網との連結が不可欠である。また、合併前の旧市町村中心部の位置にも配慮した上で、国道387号・国道325号や主要な県道との連結を重視して頂きたい。

#### <菊池市長>

- ・菊池周域は西日本トップクラス、全国でも7位の規模の畜産業が集積し、かつ大規模なテクノパークが開所したばかりであり、本件道路計画との戦略的リンクージュにより、地域経済活性化の大きな起爆剤となるもの。また菊池・山鹿地域の貴重な観光資源が阿蘇と繋がる点も、極めて意義大。

#### <菊陽町長>

- ・合志・菊陽・大津の適当なポイントに、熊本空港向けを意識したインターを設置することで、高規格道路がもたらす利便性は高まる。
- ・南ルートになった場合のインターチェンジについては、熊本空港へのアクセスにも有効な県道曲手原水線の接続地点、北ルートになった場合のインターチェンジについては、菊陽町で現在、熊本県に要望中の県道新山原水線(町道菊陽空港線)の延伸の接続地点に設置していただきたい。

#### <大津町長>

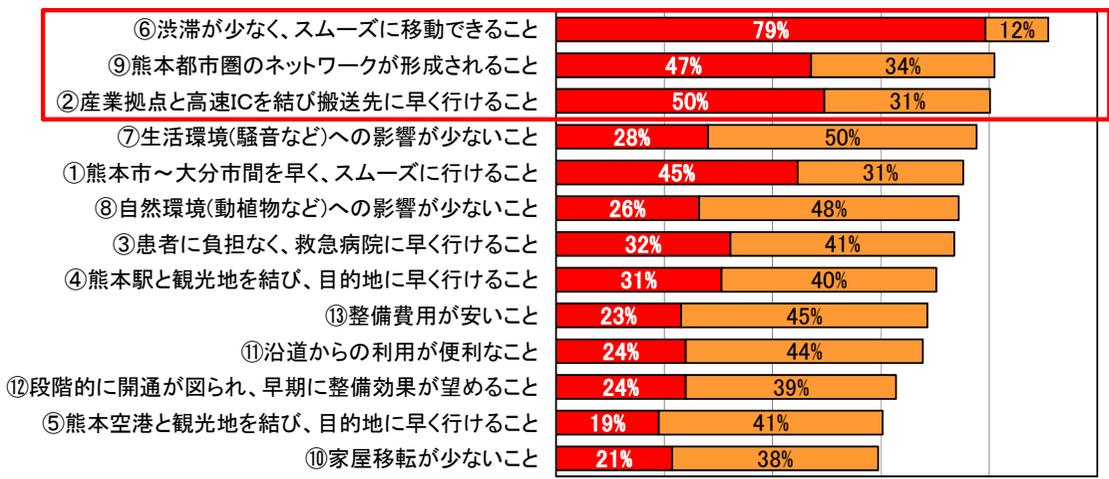
- ・インターチェンジは利便性が高いところに設けるべきで、企業が多く立地している大津町中心地北の国道325号には是非必要である。

## **3. 第2回意見聴取の結果**

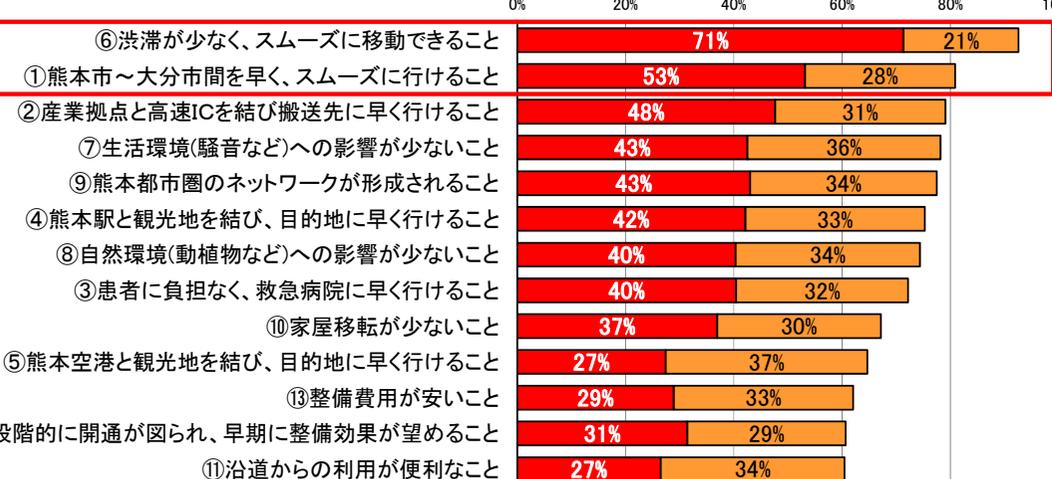
### **(3)まとめ**

# 3-3. 意見聴取の結果 <まとめ>

## 【団体・企業(ヒアリング)】 121団体・企業



## 【地域住民(オープンハウス)】 999人



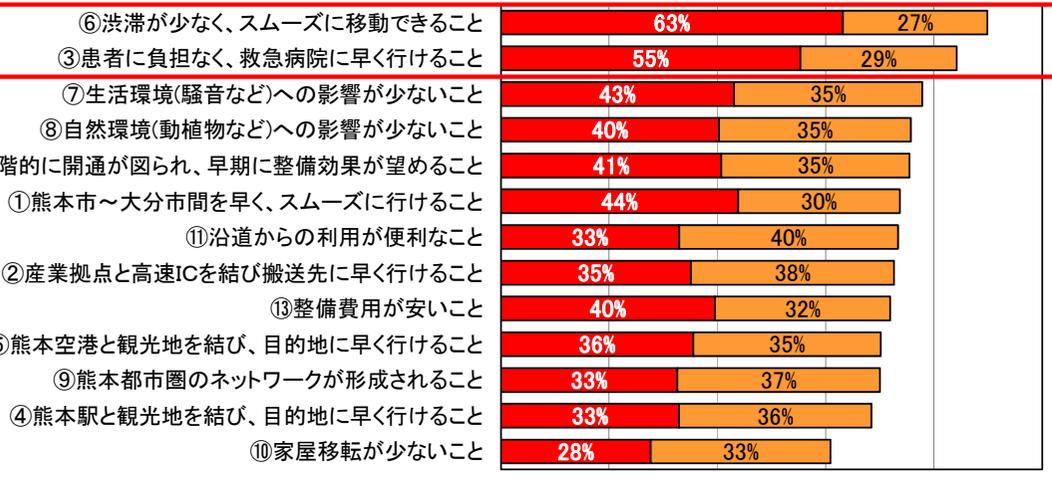
## 【自治体(ヒアリング)】

■自治体からは概ね案①の北ルートを望む声が多い

【理由】

- 工業等の各種産業が集積する地域を効果的に結び、また、熊本西環状道路と連絡し、熊本都市圏の交通混雑緩和、交通分散が期待出来る。<熊本県知事>
- 熊本西環状線の整備効果を高めるため。<熊本市長>
- 熊本都市圏の渋滞緩和の効果が大きく、利便性や速達性があり、経済効果や地場産業の活性化が見込めるため。<合志市長>
- 畜産業が集積し、大規模のテクノパーク(工業団地)も開所したばかりであることから、本道路計画との戦略的リンケージによる地域経済活性化の起爆剤として投資効果の最大化を図るため。<菊池市長>
- 物流面で九州縦貫自動車道へのアクセス道路として有効で、熊本都市圏のネットワーク形成につながるため。<菊陽町長>
- 町の中央部と中心北部に企業や商業施設が立地している大津町では、利便性や現状及び将来を鑑みて。<大津町長>

## 【地域住民(アンケート)】 4,220人



## ルート帯案

■団体・企業、地域住民に対する各意見聴取において、「⑥渋滞が少なく、スムーズに移動できること」が最も重視されていた。

■また、「①熊本市～大分市間を早く、スムーズに行けること」、「②産業拠点と高速ICを結び搬送先に早く行けること」、「③患者に負担なく、救急病院に早く行けること」、「⑨熊本都市圏のネットワークが形成されること」の項目についても重視する声が多かった。

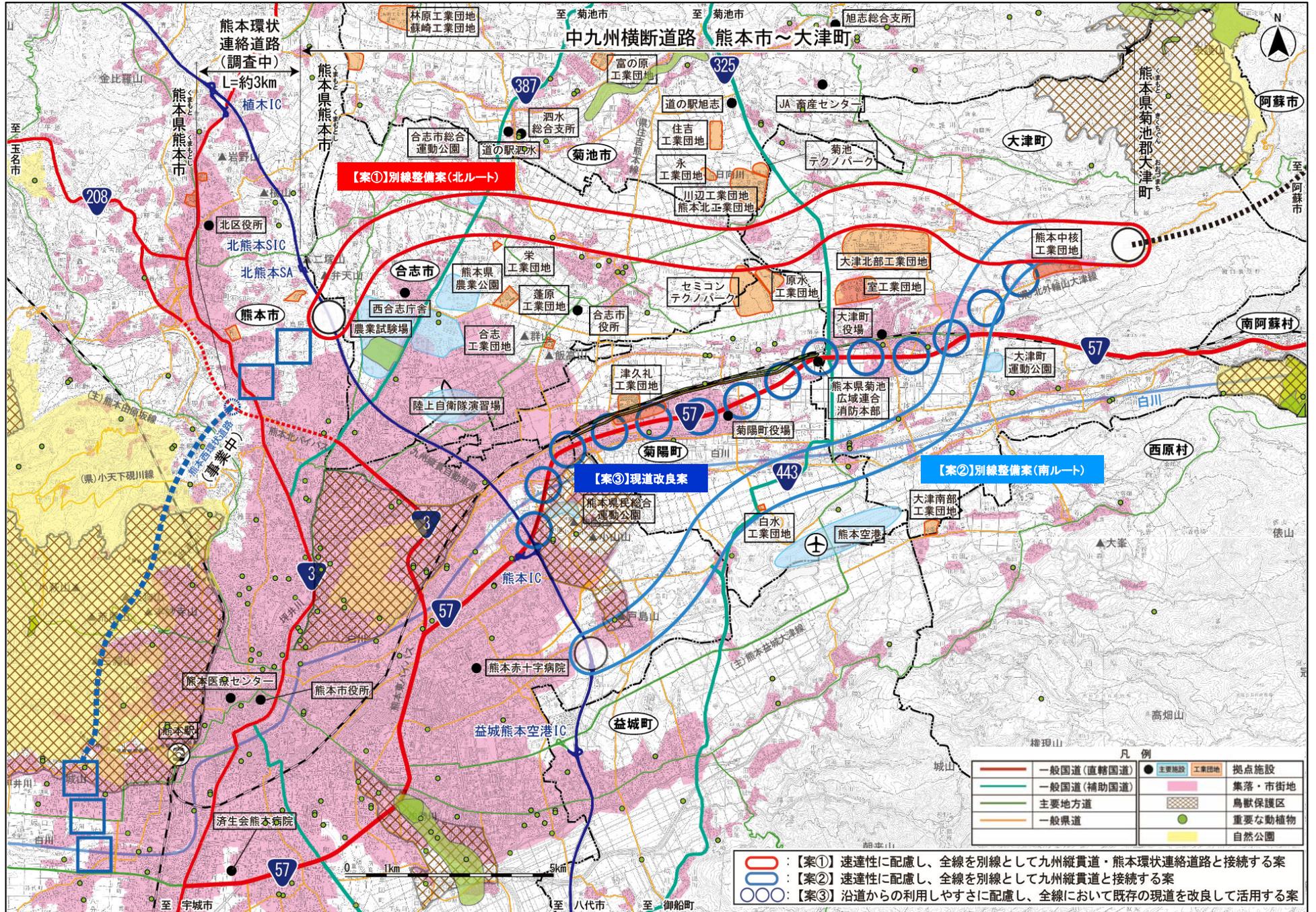
■自治体からは渋滞緩和やネットワーク効果、地域活性化の視点からルート設定することを望む声が多かった。

## インターチェンジ案

■市街地や主要な幹線道路へのアクセス性、工業団地や救急医療機関等への連絡性、渋滞緩和について重視する計画を望む声が多く寄せられた。

## 4. 対応方針(案)の検討

# 4-1. 対応方針(案)の検討<複数案の比較>



# 4-2. 対応方針(案)の検討<複数案の比較評価>

| 評価項目      |                              | 【案①】別線整備案(北ルート)   | 【案②】別線整備案(南ルート)                                | 【案③】現道改良案                                      |   |
|-----------|------------------------------|---|--|--|---|
|           |                              | 自動車専用道路(設計速度:80km/h)  | 自動車専用道路(設計速度:80km/h)                           | 一般道路(設計速度:60km/h)                              |   |
| 項目        | 指標                           | 速達性に配慮し、全線を別線として九州縦貫道・熊本環状連絡道路と接続する案                                      | 速達性に配慮し、全線を別線として九州縦貫道と接続する案                    | 沿道からの利用しやすさに配慮し、全線において既存の現道を改良して活用する案          |   |
|           |                              | 延長 約20km  | 延長 約18km                                       | 延長 約15km                                       |   |
| 政策目標      | 高速性や走行性の確保による産業の活性化          | ○ 県庁所在都市間(大分～熊本)の移動時間   | △ ・時間短縮や走行性が向上し、物流の効率化が見込まれるもの、効果は案①より小さい      | △ ・時間短縮や走行性が向上し、物流の効率化が見込まれるもの、効果は案①より小さい      |   |
|           |                              | ○ 工業団地から福岡方面への移動時間  | △ ・工業団地から高速道路までの所要時間は短縮するもの、物流の効率化への効果は案①より小さい | △ ・工業団地から高速道路までの所要時間は短縮するもの、物流の効率化への効果は案①より小さい |   |
|           | 救急医療機関への速達性・確実性の向上           | △ 第3次医療施設までの搬送時間や患者への負担   | ○ ・救急搬送時間の短縮や患者への負担軽減が見込まれるもの、効果は案②より小さい       | △ ・救急搬送時間の短縮や患者への負担軽減が見込まれるもの、効果は案②より小さい       |   |
|           | 高速性の確保による観光振興の促進             | ○ 観光地への移動時間(熊本駅(新幹線)～阿蘇間等)  | △ ・移動時間短縮が図られ、観光振興への効果が見込まれるもの、効果は案②より小さい      | △ ・移動時間短縮が図られ、観光振興への効果が見込まれるもの、効果は案①より小さい      | △ ・移動時間短縮が図られ、観光振興への効果が見込まれるもの、効果は案①より小さい |
|           |                              | △ 観光地への移動時間(阿蘇熊本空港～阿蘇間等)  | ○ ・移動時間短縮が図られ、観光振興への効果が見込まれるもの、効果は案②より小さい      | ○ ・移動時間短縮が図られ、観光振興への効果が見込まれるもの、効果は案②より小さい      | △ ・移動時間短縮が図られ、観光振興への効果が見込まれるもの、効果は案②より小さい |
|           | 渋滞緩和による生活環境の改善               | ○ 熊本都市圏の交通渋滞緩和  | △ ・別線に交通が転換するため、熊本都市圏の渋滞が緩和する                  | △ ・別線に交通が転換するため、熊本都市圏の渋滞が緩和するもの、効果は案①より小さい     | × ・熊本都市圏の渋滞が緩和するもの、効果は案①より小さい             |
| 道路整備による影響 | 環境面※                         | ○ 生活環境 集落・市街地の大気質・騒音の影響   | ○ ・集落・市街地を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい               | ○ ・集落・市街地を概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい               | △ ・集落・市街地に近接・通過するため、影響を与える可能性がある          |
|           |                              | ○ 自然環境 ・重要な動物の生息地等<br>・重要な植物・群落の生育地等<br>・自然公園など生態系の保全上重要なまとまって存在する自然環境の影響 | ○ ・概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい                      | ○ ・概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい                      | ○ ・概ね回避するため、影響を与える可能性は小さい                 |
|           | ○ 新たな道路ネットワーク 熊本都市圏のネットワーク形成 | △ ・九州縦貫道と連結することにより、熊本環状連絡道路と一体となった新たな道路ネットワークが形成される                       | △ ・九州縦貫道と連結することにより、新たな道路ネットワークが形成される           | × ・既存の国道を改良するため、新たな道路ネットワークは形成されない             |   |
|           | ○ 家屋への影響 移転が必要となる家屋等の数       | ○ ・集落等を回避するため、影響は小さい  | ○ ・集落等を回避するため、影響は小さい                           | × ・沿線の市街地等を拡幅により改良するため、沿線地域への影響が大きい            |   |
|           | △ 沿道利用 沿道からの利用               | △ ・沿道からの利用は、自動車専用道路のためインターチェンジに限定される                                      | △ ・沿道からの利用は、自動車専用道路のためインターチェンジに限定される           | ○ ・沿道からの利用は、一般道路のためどこからでもアクセス可能                |   |
|           | △ 早期効果の発現 発現の時期              | △ ・部分的な効果発現が困難  | △ ・部分的な効果発現が困難                                 | ○ ・現道を改良するため、開通したところから効果発現が見込める                |   |
|           | △ コスト 整備に要する費用               | △ 約750 ～ 800億   | × 約1,000 ～ 1,050億円                             | ○ 約650～700億円                                   |   |

比較表の内容は、現時点で想定される概ねのルートの評価を一般的な目安として記載している。

( ○:改善・満足する △:一部改善・満足する ×:他案に比べて劣る )

※自動車の走行や道路の存在に伴い影響を及ぼす可能性のある事項として整理したもの。

# 4-3. 対応方針(案)の検討

## 対応方針(案)

### ○意見聴取の結果(ルート帯案に関する事)のまとめ

- 団体・企業、地域住民に対する各意見聴取において、「⑥渋滞が少なく、スムーズに移動できること」が最も重視されていた。
- また、「①熊本市～大分市間を早く、スムーズに行けること」、「②産業拠点と高速ICを結び搬送先に早く行けること」、「③患者に負担なく、救急病院に早く行けること」、「⑨熊本都市圏のネットワークが形成されること」の項目についても重視する声が多かった。
- 自治体からは渋滞緩和やネットワーク効果、地域活性化の視点からルート設定することを望む声が多かった。

### ○意見聴取で重視されている項目での複数案の比較評価

| 評価項目                |                       | 【案①】別線整備案(北ルート)                                     | 【案②】別線整備案(南ルート)                                 | 【案③】現道改良案   |
|---------------------|-----------------------|---|---|---|
|                     |                       | 自動車専用道路(設計速度:80km/h)                                | 自動車専用道路(設計速度:80km/h)                            | 一般道路(設計速度:60km/h)                                 |
| 項目                  | 指標                    | 速達性に配慮し、全線を別線として九州縦貫道・熊本環状連絡道路と接続する案<br>延長 約20km    | 速達性に配慮し、全線を別線として九州縦貫道と接続する案<br>延長 約18km         | 沿道からの利用しやすさに配慮し、全線において既存の現道を改良して活用する案<br>延長 約15km |
| 高速性や走行性の確保による産業の活性化 | 県庁所在都市間(大分～熊本)の移動時間   | ○ ・時間短縮や走行性が向上し、物流の効率化が見込まれる                        | △ ・時間短縮や走行性が向上し、物流の効率化が見込まれるものの、効果は案①より小さい      | △ ・時間短縮や走行性が向上し、物流の効率化が見込まれるものの、効果は案①より小さい        |
|                     | 工業団地から福岡方面への移動時間      | ○ ・工業団地から高速道路までの所要時間が短縮し、物流の効率化が見込まれる               | △ ・工業団地から高速道路までの所要時間は短縮するものの、物流の効率化への効果は案①より小さい | △ ・工業団地から高速道路までの所要時間は短縮するものの、物流の効率化への効果は案①より小さい   |
| 救急医療機関への速達性・確実性の向上  | 第3次医療施設までの搬送時間や患者への負担 | △ ・救急搬送時間の短縮や患者への負担軽減が見込まれるものの、効果は案②より小さい           | ○ ・救急搬送時間の短縮や患者への負担軽減が見込まれる                     | △ ・救急搬送時間の短縮や患者への負担軽減が見込まれるものの、効果は案②より小さい         |
| 渋滞緩和による生活環境の改善      | 熊本都市圏の交通渋滞緩和          | ○ ・別線に交通が転換するため、熊本都市圏の渋滞が緩和する                       | △ ・別線に交通が転換するため、熊本都市圏の渋滞が緩和するものの、効果は案①より小さい     | × ・熊本都市圏の渋滞が緩和するものの、効果は案①より小さい                    |
| 新たな道路ネットワーク         | 熊本都市圏のネットワーク形成        | ○ ・九州縦貫道と連結することにより、熊本環状連絡道路と一体となった新たな道路ネットワークが形成される | △ ・九州縦貫道と連結することにより、新たな道路ネットワークが形成される            | × ・既存の国道を改良するため、新たな道路ネットワークは形成されない                |

比較表の内容は、現時点で想定される概ねのルートの評価を一般的な目安として記載している。

( ○:改善・満足する △:一部改善・満足する ×:他案に比べて劣る )

比較評価の結果、地域が最も重視する政策目標である「渋滞緩和による生活環境の改善」において最も優位であり、かつその他の重視する項目についても総合的に優れていることからルート帯(案)については

**『案①』別線整備案(北ルート)を対応方針(案)とする。**

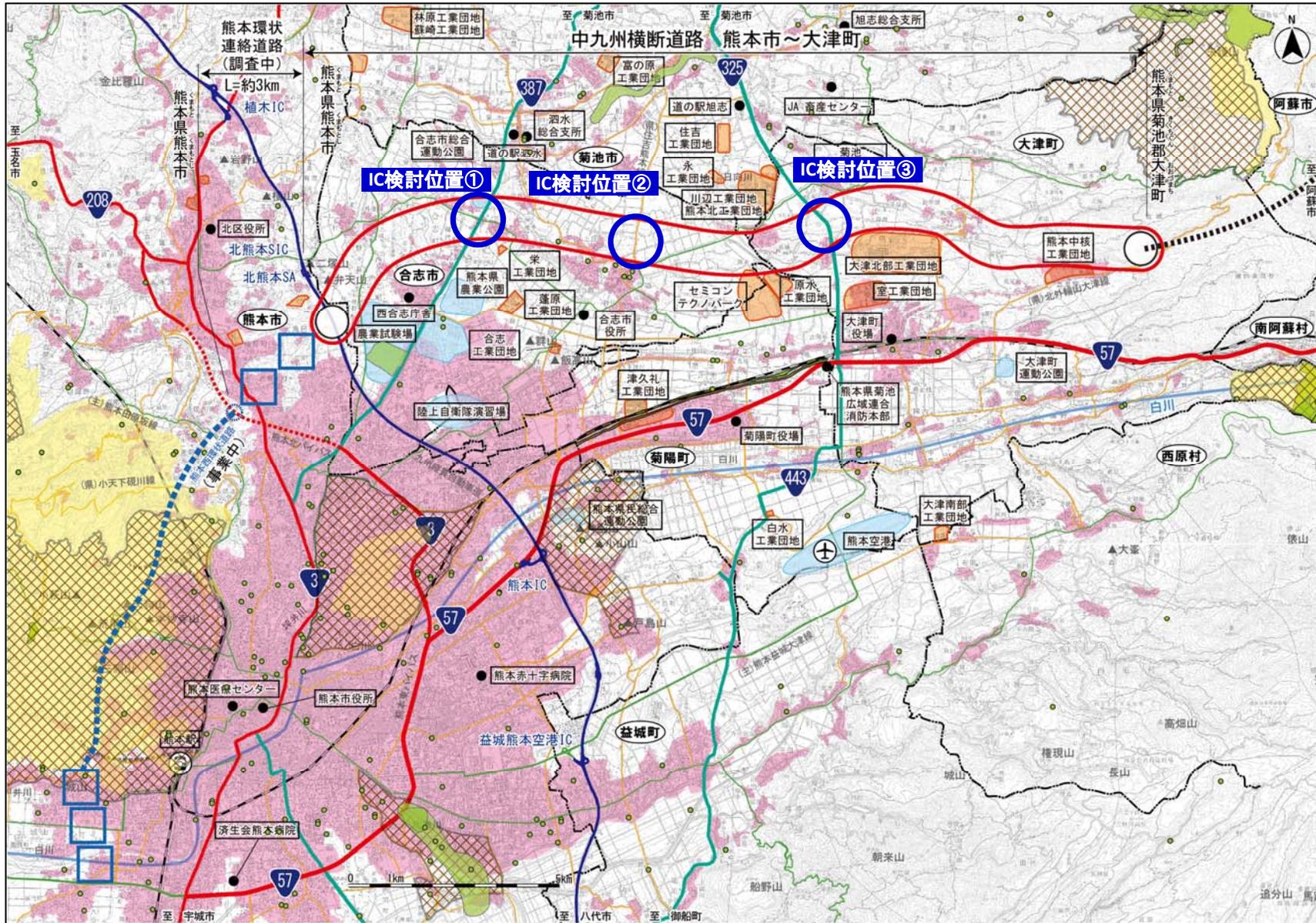
# 4-3. 対応方針(案)の検討

## 【ルートの考え方】

新たな熊本都市圏のネットワークが形成され渋滞が緩和、熊本大分間や工業団地、熊本駅までの速達性が向上、環境・家屋への影響も少ないルート

## 【インターチェンジ配置の考え方】

渋滞緩和が図られ、市街地や主要な幹線道路にアクセスしやすく、工業団地等への連絡性を考慮した計画



凡例

|               |            |
|---------------|------------|
|               | 一般国道(直轄国道) |
|               | 一般国道(補助国道) |
|               | 主要地方道      |
|               | 一般県道       |
|               | 主要施設       |
|               | 工業団地       |
|               | 拠点施設       |
|               | 集落・市街地     |
|               | 鳥獣保護区      |
|               | 重要な動植物     |
|               | 自然公園       |
| 構造上のJCT設置可能位置 |            |
|               | JCT設置不可    |
|               | JCT設置可能    |
|               | 概ねのルート     |
|               | 概ねのIC位置    |

## 5. 自治体への意見照会

# 5. 自治体への意見照会〔対応方針(案)に対する自治体意見〕

## ■意見照会の回答(要旨)

| 自治体名 | 意見   |
|------|--|
| 熊本県  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中九州横断道路(熊本市～大津町)における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意します。</li> <li>・ 事業実施に向けては、重要な動植物の生息・生育地等に配慮し、地域の生活環境及び自然環境への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。</li> <li>・ 本区間の早期整備によるストック効果の発現を期待しています。本県として積極的に支援して参りますので、国による早期事業化へ向けて特段の御配慮をお願いいたします。</li> </ul> |
| 熊本市  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中九州横断道路(熊本市～大津町)における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意します。</li> <li>・ 本区間の国による早期事業化が図られますよう特段のご配慮をお願いいたします。</li> <li>・ 九州縦貫自動車道との接続部は、熊本環状連絡道路の道路計画もあり、道路交通の集中が見込まれることから、地域への大気質、騒音等の生活環境への影響に配慮し、地域への影響をできる限り回避・低減に努めて頂きますようお願いいたします。</li> </ul>         |

# 5. 自治体への意見照会〔対応方針(案)に対する自治体意見〕

## ■意見照会の回答(熊本県知事・熊本市長)

道整第79号  
平成27年9月14日

国土交通省  
九州地方整備局長 様

熊本県知事 蒲島 郁夫 

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

平成27年9月11日付け国九整道一計第8号で意見照会のありましたことについて、下記のとおり回答します。

記

- 1 中九州横断道路(熊本市~大津町)における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意します。
- 2 事業実施に向けては、重要な動植物の生息・生育地等に配慮し、地域の生活環境及び自然環境への影響をできる限り回避・低減に努めていただきますようお願いいたします。
- 3 本区間の早期整備によるストック効果の発現を期待しています。本県として積極的に支援して参りますので、国による早期事業化へ向けて特段の御配慮をお願いいたします。

道整発 第 105 号  
平成 27 年 9 月 11 日

国土交通省 九州地方整備局長 様

熊本市長 大西 

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

平成27年9月11日付け国九整道一計第8号で意見照会のありましたことについて、下記のとおり回答します。

記

- 1 中九州横断道路(熊本市~大津町)における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意します。
- 2 本区間の国による早期事業化が図られますよう特段のご配慮をお願いいたします。
- 3 九州縦貫自動車道との接続部は、熊本環状連絡道路の道路計画もあり、道路交通の集中が見込まれることから、地域への大気質、騒音等の生活環境への影響に配慮し、地域への影響をできる限り回避・低減に努めて頂きますようお願いいたします。

## 6. 対応方針(案) まとめ

# 6. 対応方針(案)

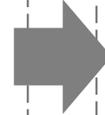
## 1. 道路整備の必要性

### 【理由】

#### 政策目標を実現できる道路整備を検討

##### 【政策目標】

- ◇高速性や走行性の確保による産業の活性化
- ◇救急医療機関等への速達性・確実性の向上
- ◇高速性の確保による観光振興の促進
- ◇渋滞緩和による生活環境の改善



- 対象地域は、熊本県内有数の工業団地や農畜作物生産エリア等を有しているが、移動における速達性・定時性が課題であり、地域の産業や広域観光の振興を支援するためには、速達性・定時性の高い道路整備が必要。
- 企業・団体ヒアリングやオープンハウス及びアンケート等においても、渋滞緩和に繋がり、目的地まで早くスムーズに走ることができる速達性・定時性の高い道路が早期に必要なという意見が多く、このような政策目標を早期に実現できる道路が望まれている。

## 2. 対応方針(案)

### (1) ルート帯について

『案①』別線整備案(北ルート)を対応方針(案)とする。

#### 【理由】

- 団体・企業、地域住民に対する各意見聴取において、「⑥渋滞が少なく、スムーズに移動できること」が最も重視されていた。
- 「①熊本市～大分市間を早く、スムーズに行けること」「②産業拠点と高速ICを結び搬送先に早く行けること」「③患者に負担なく、救急病院に早く行けること」「⑨熊本都市圏のネットワークが形成されること」の項目についても重視する声が多かった。
- 自治体からは渋滞緩和やネットワーク効果、地域活性化の視点からルート設定することを望む声が多かった。
- 比較評価の結果、地域が最も重視する政策目標である「渋滞緩和による生活環境の改善」において最も優位であり、かつその他の重視する項目についても総合的に優れている。

### (2) インターチェンジについて

渋滞緩和が図られ、市街地や主要な幹線道路にアクセスしやすく、工業団地等への連絡性を考慮した計画

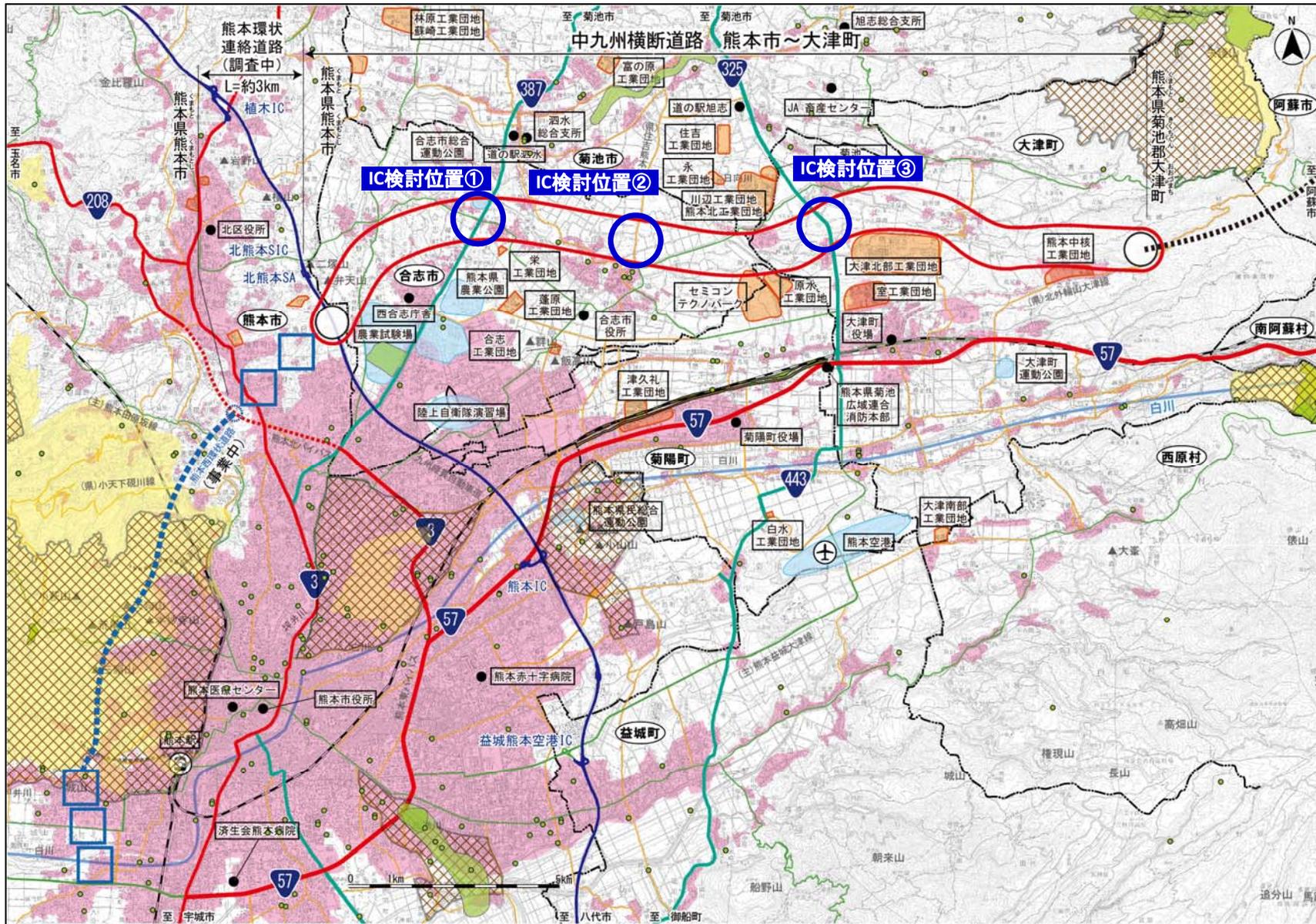
#### 【理由】

- 各意見聴取において、市街地や主要な幹線道路へのアクセス性、工業団地や救急医療機関等への連絡性、渋滞緩和について重視する計画を望む声が多く寄せられた。

## 3. その他

・ 具体の道路構造等の検討に際しては、家屋や生活環境・自然環境への影響を出来る限り少なくし、コスト縮減等に配慮する。

# 6. 対応方針(案)



凡例

|               |            |
|---------------|------------|
|               | 一般国道(直轄国道) |
|               | 一般国道(補助国道) |
|               | 主要地方道      |
|               | 一般県道       |
|               | 主要施設       |
|               | 工業団地       |
|               | 拠点施設       |
|               | 集落・市街地     |
|               | 鳥獣保護区      |
|               | 重要な動植物     |
|               | 自然公園       |
| 構造上のJCT設置可能位置 |            |
|               | JCT設置不可    |
|               | JCT設置可能    |
|               | 概ねのルート     |
|               | 概ねのIC位置    |